

熊山神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

創建年代は不詳である。本神社は熊山の山嶺に鎮座し、神位従四位下、式内外で一二八社の一であった。唐僧鑑真和尚が天平勝宝六年(七五四)に聖武天皇の招きにより入朝し、帝釈山靈山寺を開き地藏菩薩を社内に安置し、国家泰平・牛馬安全の守護神とした。享保年間(一七一六～三六)に旧藩主池田侯から墨印・社領高二十石・山林八町四面を賜ったが、明治維新の際、神仏混淆御引分けとなり、明治六年に熊山神社と改称した。明治三十二年八月二十八日に暴風のため社殿は焼失した。建武中興(一三三四)の初め後醍醐天皇が西遷せられる時に、児島高德が義旗をあげ、皇師の軍を起したことは有名である。



前の写真へ次

基本情報

神社コード

07103

神社名

熊山神社 (クマヤマジンジャ)

通称名

旧社格

村社

鎮座地

〒709-0713 赤磐市奥吉原1526

電話番号

FAX番号

駐車場

御祭神

御神徳

主な祭典

宮司宅電話

086-946-1453

URL

e-mail

特記事項

氏子地域

交通アクセス

神事一覧

神輿行事

祭礼日時：4月第3日曜日10時

文化財指定：無

[神事詳細](#)

